



南アルプス市立図書館長

芦沢 順子 あしざわ じゅんこ

中央図書館は、今年度は建設から20年目にあたります。今まで様々なイベントを行い、今もたくさんの人との出会いの場となっています。

平成28年10月には改修工事を行い、リニューアルをして、「楡形図書館」から「中央図書館」へ名前が変わりました。同時に、近代前後に活躍された南アルプス市にゆかりのある人を紹介する「ふるさと人物室」が新設され、ふるさとの魅力を再発見できる場所となりました。私自身も再発見の喜びを感じている一人です。

現在開催されている第7回展示（～令和2年3月8日（日）まで）は、愛育の母として母子福祉に尽力された「矢崎きみよ」展です。きみよさん（地元の人は親しみを込めて名前で呼んでいます）は、ご近所で、私自身も以前源愛育班の役員をした経験もあり、身近な人でしたので、今回関わったことに不思議なご縁を感じています。令和元年11月30日に行われた「矢崎きみよフォーラム」では、きみよさんにゆかりのある方々をパネリストにお迎えし、貴重なお話をうかがうことができました。



【フォーラムの様子】

また、展示開始後印象に残った見学者がいました。6名

の女子大生で、女性史を研究しているサークルの仲間でした。こちらの説明にメモ取りながら熱心に耳を傾け、「矢崎きみよさんがいなかったら、今の自分たちの存在はなかったかもしれないね」と話すと、「そうかもしれない…」とみんなで顔を見合わせながら頷いていた様子に、きみよさんの想いが、若い人たちにも届き、確実に引き継がれていることを実感した出来事でした。図書館のふるさと人物室は、本と人の関係だけでなく、人と人がつながり相乗効果を生み出しているようです。



【ふるさと人物室の前で 芦沢図書館長】

さらに、この図書館には、たくさんの応援団がいることがわかりました。

例えば図書館活動を支えてくれるボランティアの皆さん。勉強熱心な学生さん。朝早くから来てくれる新聞・雑誌コーナーの常連さん。おはなし会を楽しみにしてくれる親子連れなどです。そんな皆さんと一緒に、これからも魅力ある図書館づくりを目指していきたいと思えます。

ふるさとの魅力

再

発

見

第6回展示「^{きない} 功刀亀内」

からの再発見！

地域史料「甲州文庫」の蒐集者功刀亀内氏の展示は、市内外から多くの方に見学していただきました。また、展示がきっかけになり親族から貴重な史料を寄附していただきました。

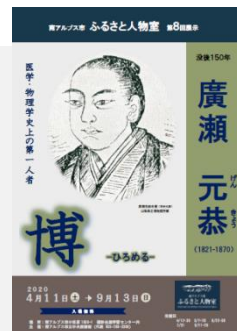
ふるさとの大切な宝物として保存・活用をさせていただきます。



【寄附された史料】

お知らせ

第8回展示 博 -ひろめる- げんきょう 廣瀬元恭



■ **会期**
令和2年4月11日(土)～9月13日(日)

■ **講演会**
日時: 令和2年7月12日(日)
午後 1 時30分～3時

場所: 楯形生涯学習センター
2階研修室

講師: 鬼丸智彦氏

演題: 蘭学医学者
「廣瀬元恭」



蘭学者としても活躍した医師「廣瀬元恭」が博めた医学・物理学史上の功績をぜひご覧ください。

齊藤順子氏を悼む

南アルプス市立図書館ボランティア



また、読み聞かせボランティア「でんでんむしの会」と「ききみみずきんおはなしの会」、朗読ボランティア「すずの会」に所属され、幅広く関わっていただきました。

齊藤順子先生の志を継ぎ、次の世代につながるように図書館司書一同、実践していきたいと思ひます。

ありがとうございました。

長い間、市立図書館に関わっていただいた齊藤順子先生が、昨秋亡くなりました。謹んでお悔やみを申し上げます。

図書館事業では「おはなし会」をはじめ、市内保育所等の出前おはなし会の支援、「詩を楽しむ会」「ボランティア養成講座」「読み聞かせ講座」の講師、また子どもの本専門家として、ブックスタート事業とセカンドブック事業の本の選書をご指導していただきました。

